



通信

HP 学校だより
R4. 9. 22
NO. 21
文責 伊藤美佳



やっぱり相撲はおもしろい

10月4日（火）の相撲大会に向けて、チャレンジタイムで基本動作や取り組みを練習し始めました。3年ぶりの相撲大会です。子どもたちが真剣に相撲に取り組めるのか、正直に言って心配をしていました。ところが、練習が始まると「がむしゃら」に相手に向かっていく姿がそこここで見られ、思わずうれしくなりました。グラウンドに書かれた土俵の円が残っていると、つつい相撲の取り組みが始まる様子を見るのも楽しいです。子どもたちの「がむしゃら」な姿を、相撲大会で参観していただけることが今から待ち遠しいです。

【相撲豆知識】子どもたちとの会話のネタに、相撲の取り組み練習にお使ください。

相撲は礼儀を重んじ、相手を尊重する態度が求められるスポーツです。相撲を通じて、瞬発力、巧緻性、柔軟性を養うことができるとともに、集中力や精神力を高め、「心」の修練を行うことができますと言われています。礼法には、「蹲踞（そんきょ）」「塵手水（ちりちょうず）」があります。「蹲踞」は相手に対する敬礼の意味を込めるとともに、呼吸を整えることで心を落ち着かせ、集中力を高めるためにも大切な動作です。「塵手水」はすべての迷いを捨て、試合に臨むためのもので、「ちりを切る」ともいい、お互いに呼吸を合わせ、動作も合わせておこないます。基本動作の「四股（しこ）」も相撲の最も基本の動作であり、トレーニング方法です。



4年生の授業風景

先週の木曜日に、講師の先生をお招きして4年2組の授業研究会を行いました。どんな授業をすると子どもたちが楽しく学べるのかを話し合う勉強会です。4年2組の授業を参観し、その授業をもとに話し合い、講師の先生からのご指導をいただきました。温かい雰囲気の中で、子どもたちが自分の考えや思いを伝え合っていたことが、学びを深めることにつながると実感しました。また、話を「聞く」ことや自分を「振り返る」こと、書くことで考えがまとまることなどの大切さも学び、これからの授業に役立てていきたいと思ひます。大人の私たちも、「聞くこと」を大切にしていきたいです。



今週の「あこがれ」 み～つけた！

- ・職員室前の流しが黒ずんでいました。掃除の子たちが毎日みがいてくれて、今ではぴかぴかのきれいな流しになりました。掃除の時間に集中して取り組み、美しくしてくれたその姿にあこがれます。
- ・3年生の授業で、「話を聞くときは、話している人に何を向けたらいいか」を話し合っていたとき、その人に向けるのは「目と心」とつぶやいていた子がいます。目と心に向けて話を聞けたらすてきなだと思ひました。